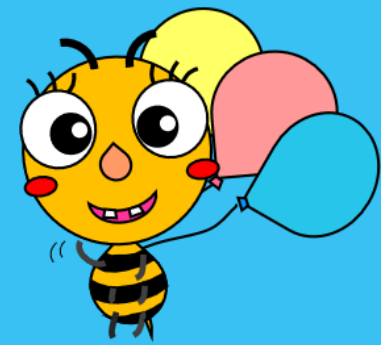


ふくら通信

～2023年冬号～



こんにちは。今年に入って10年に一度の大寒波がやってきたりとまだまだ寒さが厳しい季節ですね。皆様のご健康と幸せを心よりお祈りしております。

ふくら通信は今年第1号となっております。私は毎年小さなことですが目標を立てるようになっておりますが、今年目標は、「本をたくさん読むこと」と「適度な運動をする」事にしました。つい暇な時間があると携帯を見てあっという間に時間が過ぎてしまう事もあるので、本を読んでじっくり考えてみたり、エクササイズ動画や簡単なヨガの動画などを短い間でも無理のない程度で続けていこうと思っています。皆さんの目標がありましたら是非教えてください。学校に行かれています利用者さんは冬休みが終わってから進級・進学までの3か月間何かと忙しい時期かと思いますが、ふくらでも1日1日を大切にしながら、引き続き利用者様の素敵な経験となるような活動などを計画して安全に楽しくご提供していきたいと思っております。



代表コラム



株式会社福蔵FUKURA 代表取締役 須田 祥子

【文鳥を飼育】

私が子供の頃、近所に小鳥屋さんがあってそこで文鳥の雛を買ってきては育てていました。すると人になつて手乗り文鳥になります。指から指へとぴょんぴょんと渡り歩いて遊んだりします。ある日、日光浴をさせるために、鳥かごを家の外に出していた時に、なんと蛇が鳥かごに入って文鳥を食べてしまっていました。お腹に小鳥が入った蛇は、かごから出ることが出来ずに中にいて、本当に恐ろしい風景でした。なんといいですか、弱肉強食とか生きるということのすさまじさとか、厳しさとか、可愛いペットを失ったショックも含めてしばらく夜眠れなかったことを覚えております。

人になつく文鳥の可愛さを味合わせたくて、我が子が子供の頃にも雛を買ってきて飼育したこともあります。生きることの厳しさも、生命への責任も含めて体験させたかったからです。そして、20年ぶりくらいに再び今年の1月から文鳥のつがいのを飼育を始めました。もう大人の文鳥なので今から手乗りにするのは難しいのですが、卵を産み雛が生まれるのを待つて手乗り文鳥になるようにまた育ててみたいと思っています。

【コロナもまもなく感染症5類相当に】

世界のコロナに対する状況を見ますと欧米ではもう1年も前からマスクもしていませんしコロナは風邪として扱われております。ようやく日本もゴールデンウィーク明けの5月8日から感染症2類から5類相当へ見直しがされるようですね。マスクに関しては、個人の判断によるとされるようですが、マスク依存（マスクを外して人と向かい合うことが怖い）なども生じていると聞きますし、幼い子ども達にとっては、大人の笑顔を見る機会が減りその弊害として精神発達上の問題が深刻であるとも言われております。感染症への対応と子どもたちの健全な心の発達や愛情表現を両立させて取り組んで参りたいと考えております。コロナ以外でも梅毒やらサル痘やらが流行したりと、なんとなく不気味だなと思うようなことも起こっておりますが「一日一生」という言葉がありますが、今日を悔いのないようにより良く明るく生きることを心掛けていくのみと思っております。三密を避けるために使っているセカンドルーム（中台向かいの薬局跡）も職員にも利用者にもすっかり馴染み、快適に広々と過ごすことが出来ております。